



早いもので、今年もあと半月をきりました。皆さんは、今年どんなことに挑戦しましたか？「素敵な本との出会い」はありましたか？多古中では、冬休み前に本の貸出をします。暖かい部屋でゆっくりと読書を楽しみながら、クリスマスやお正月を楽しく過ごしてください。



今年は・・・鉄道開業 150周年



1872(明治5)年10月14日に、日本初の鉄道となる新橋～横浜間29kmが全線開通しました。その区間の品川駅付近と横浜駅の手前は、海上ルートでした。そして、開業に合わせてイギリスから機関車が10台輸入され、そのうちの1台は現在、鉄道博物館に保存されています。

📖 雑学を超えた教養シリーズ『技術のしくみからデザインまでわかる鉄道』 斉藤博貴：著

日本が誇る新幹線の車両や線路、運行管理などのさまざまな技術について、電気機関車とディーゼル機関車、電車の違い、レールに関するあまり知られていない秘密など、鉄道に関する100の項目を詳しく解説した本です。九州新幹線「つばめ」の車両デザインを手掛けて有名になった水戸岡鋭治さんのエピソードもあります。

📖 『急行「北極号」』 C・V・オールズバーク：絵と文 村上春樹：訳

まだ僕が子供だった頃のクリスマス・イブの夜、サンタのソリの鈴の音を待っていると、シューっという蒸気の音が聞こえてきて、外には汽車が止まっていました。サンタを信じている子供だけが乗れるその汽車は、一体どこへ行くのでしょうか。

📖 『あの日、あの駅で。駅小説アンソロジー』 ほしおさなえ 他：著

皆さんは、今でも記憶に残っているような駅での思い出はありますか？その駅を利用する人は変わっても、駅そのものや思い出はいつまでも変わることはありません。そして、駅を利用する人の数だけ思い出はあります。ありふれた駅で起きた心温まる4つの出来事を物語にした作品です。

冬休み前の貸出

期間：12月19日(月)～23日(金)

1人5冊まで借りられます。

※今、本を借りている人は、その本を返却してからの貸出となります。

返却：1月12日(木)まで

かいどうたける

海堂 尊 (12月生まれ、千葉市出身)



作家、医師、博士。44歳の時に書いたデビュー作『チーム・バチスタの栄光』で「このミステリーがすごい！」大賞を受賞。

その後も、田口・白鳥シリーズとして、続編が出版されている。

📖 『ブラックペアン 1988』

東城大学病院の研修医となった世良。同じ頃に帝華大から来た新任講師の高階が指導医となる。彼や、ヒュウ医局員だが腕は一流の渡海と関わることで、医師としての在り方を学んでいく。

この本、読んでみませんか？ (図書委員 菜那さんのおすすめ)

『きのうの影踏み』 辻村深月：著

この本は12月にアニメ映画化される『かがみの孤城』の作者、辻村深月さんの本で、あまり本を読まない人でも楽しめる短編集です。日常に潜むちょっと不思議なことや、ちょっと気味の悪いことを集めた作品です。都市伝説にもならないようなほんの小さなことなのに、ゾッとしてしまう、何ともいえない後味です。こたつにアイスの感覚で、こたつに怪談なんていかがですか？

